

最終案内

日本生活科・総合的学習教育学会 第33回全国大会（新潟大会）

日本生活科・総合的学習教育学会会長 中野 真志
第33回全国大会（新潟大会）会長 伊藤 充
同実行委員長 青木 博子

大会テーマ

一人一人が響き合い、学び、
共に創り出す「くらし・社会・未来」

大会期日

令和6（2024）年6月22日（土）・23日（日）

幕末の安政5年（1859年）に、五か国条約により開港5港の一つに指定されたのが、ここ新潟です。日本生活科・総合的学習教育学会の第33回全国大会が、160年以上前に新しい時代の幕が上がった新潟で開催されることは、本当に光栄なことです。新潟大会の主題は「一人一人が響き合い、学び、共に創り出す『くらし・社会・未来』」です。この大会でも、新潟から全国へ、次の時代を見据えた、未来につながる提案をしていくつもりです。

今日的な課題は「個別最適な学び」と「協働的な学び」との一体的な充実です。これまでも「個の学び」と「集団の学び」の相互作用を重視してきました。しかし、協働性を求めていくあまり一人一人が並列化し、集団の中で個が埋没してしまう。そして考え方や追究の仕方、感じ方や個性までもが統一化されていくような、画一的・同調主義的な学びの風土を感じる場面はなかったでしょうか。

そこでまず、私たちは、多様な子どもが自律的に学び、人と違う興味や特性が肯定される中で、一人一人の可能性、考え方の違いや良さが生かされることを基盤とすることを考えました。さらに、異なる考え方が組み合わせ、新しい気付きや最適解、納得解を創り出す姿を目指しています。個が生き、その一つ一つの強い個が響き合った時、その集団は大きく成長し、子どもたちの学びは確実に深まるはずで。

「個が生き、その一つ一つの強い個が響き合う姿」を考えることで、生活科、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実はどうあれば良いかを、改めて問い直すことができると考えています。

生活・総合の未来を描く大きなうねりを、この日本海を望む新潟の地から、皆さまとともに創り上げたいと考えています。ぜひ多くの皆さまのお越しをお待ちしています。

主催

日本生活科・総合的学習教育学会

後援

文部科学省（申請中）、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟県・新潟市小学校教育研究会、新潟県中学校教育研究会、新潟県高等学校教育研究会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、新潟県幼稚園・こども園連盟、新潟日報社

日程・会場

【第1日目 6月22日(土)】

時刻	内容	会場
8:30~	受付	新潟市立沼垂幼稚園 新潟市立新潟小学校 新潟大学附属新潟小学校・新潟中学校
9:00~11:40 ※1	公開保育・公開授業	
	高校実践発表 (会場:附属新潟中学校) 協議会	
<移動> ※2		
12:00~	昼食	新潟大学附属新潟小学校・新潟中学校 新潟青陵大学
	理事会 (会場:新潟青陵大学 4331 会議室) 新潟青陵大学受付	
13:00~14:40	自由研究発表	
<移動> ※2		
15:10~16:50	課題別研究発表	新潟青陵大学
	休憩・移動	
17:00~17:50	総会	
<移動> ※2		
(18:00~)	懇親会受付	ANA クラウンプラザホテル新潟
18:30~	懇親会	

※1 公開授業の開始時刻は、各校によって異なります。詳細は最終案内の4ページをご確認ください。

※2 協議会終了後、自由研究発表終了後、及び総会終了後の会場間の移動には、無料チャーター・バスをご利用ください。なお、駐車場は附属新潟小学校のグラウンド、沼垂小学校のみ利用できます。詳細は、23ページをご参照ください。

【第2日目 6月23日(日)】

時刻	内容	会場	
8:40~	地域世話人会	ANA クラウンプラザホテル新潟	
9:30~	受付		
10:00~10:30	全体会		開会行事
10:30~12:15			シンポジウム
12:15~12:30			閉会行事

大会参加費

事前申込のみです。 大会当日の参加申し込みはできません。

一般：4,000円 学生：3,000円 懇親会：7,000円

参加申込方法

新潟大会のホームページ上の「大会への参加申込」のページから、**5月25日(土)までに**申込ください。**【期日厳守】**

大会HPはこちらです →



【重要】大会参加に当たっての留意点

(1) 事前申込・事前入金へのご協力のお願い

本大会は、事前申込のみとなります。(当日参加はできません)

(2) QRコードの持参

参加申込みの手続き後、QRコード付きの確認書が発行されます。

大会当日、忘れずにこのQRコード付きの確認書をご持参ください。

(3) 名札の持参

大会1週間前程になりましたら、旅行業者から最終確認のご案内メールが送付されますので、必ず内容をご確認ください。特に、このメールには**名札の用紙**を添付する予定です。印刷していただき、必要事項をご記入の上、忘れずに大会当日ご持参ください。なお、名札ケースは、当日受付にてお渡しいたします。

(4) 受付

6月22日(土)午前中の公開保育・授業、協議会からご参加の場合は、各会場で受付を行ってください。6月22日(土)午後からご参加の場合は附属新潟小学校・附属新潟中学校または新潟青陵大学で、懇親会からまたは大会2日目の6月23日(日)からご参加される場合はANAクラウンプラザホテル新潟で受付を行ってください。

(5) 宿泊先・昼食の申込

宿泊先等については、「大会への参加申込」の際に、旅行業者の申込ページを通じて申込か、会員各自で手配するよう、お願いいたします。

また、6月22日(土)に新潟青陵大学の学食は営業していません。会場近辺には飲食店やコンビニもあまりございません。昼食は、「大会への参加申込」の際にお弁当を申し込めば、各自でご用意ください。お弁当の申込に際しては、お弁当を受け取る場所(附属小・中学校もしくは新潟青陵大学のいずれか)をご確認いただき、**大会当日は必ずその場所で**受け取ってください。

(6) その他

- ①新潟市立沼垂幼稚園、新潟市立新潟小学校、新潟大学附属新潟小学校・新潟中学校は、土足厳禁です。**内履き**をご持参いただくとともに、**外履き入れ**を忘れずご持参ください。
- ②いずれの会場においても、**クロークは用意いたしません**。
お荷物は宿泊先にお預けいただくか、各自で管理するようお願いいたします。
- ③いずれの会場内においても、セキュリティの関係上、Wi-Fiへの接続は不可です。Wi-Fiへの接続が必要な方は、各自でご用意ください。
- ④会場内でのチラシ類等の搬送・配布は、各自の責任で行うよう、お願い申し上げます。学会として必要なチラシ類等の搬送・配布は新潟大会事務局としてはお引き受けいたしかねます。「学会事務局」へご連絡・ご相談ください。

【問い合わせ先】大会事務局：新潟青陵大学 教育学研究室 中野啓明

〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939 新潟青陵大学

Tel&Fax (025)266-9392

E-mail niigata.seikatu.sougou@gmail.com

公開保育・授業・実践発表一覧

【会場】新潟市立沼垂幼稚園

<受付> 8:30~

<公開保育> 9:00~10:00

<協議会> 10:15~11:15

公開クラス	保育のねらい 保育担当者	協議会	
		司会者	助言者
3歳児 うさぎ組	安心して自分のやりたいことをして遊ぶ 岡田みさ子	古田 愉子 (新潟市立西幼稚園)	無藤 隆 (白梅学園大学)
3歳児 りす組	安心して自分のやりたいことをして遊ぶ 伊藤江美子		
4歳児 さくら組	やりたいことを見付け、 教師や気の合う友達と一緒に遊ぶ 水澤 友美		
5歳児 ほし組	友達と同じような目標に向かって一緒に遊ぶ 中村 真紀		

【会場】新潟市立新潟小学校

<受付> 8:30~

<公開授業> 9:35~10:20

<協議会> 10:40~11:40

公開クラス	単元名 授業者	協議会	
		司会者	助言者
2年2組 (生活科)	わたしのまちをじまんしたい! ~じまんゲットたんけんたい~ 氏田 美香	二野 憲子 (新潟市立葛塚東小学校)	嶋野 道弘 (元 文教大学)
4年3組 (総合)	古町スイーツ 小川 雅裕	笠井 悠 (上越教育大学附属小学校)	鈴木 紀知 (横浜市教育委員会)
6年3組 (総合)	古町ムービー 三星 雄大	風間 寛之 (上越市立大手町小学校)	三田 大樹 (國學院大学)

【会場】新潟大学附属新潟小学校

<受付> 8:30~

<公開授業> 9:45~10:30

<協議会> 10:40~11:40

公開クラス	単元名 授業者	協議会	
		司会者	助言者
1年2組 (生活科)	もっと大すき! ぼくらのがっこう 大図 俊哉	小黑 健太 (附属新潟小学校)	齋藤 博伸 (文部科学省)
3年2組 (総合)	みそパワーでつなぐ地域!! -発酵文化の奥深さ- 槇田 泰彦	小林 孝俊 (附属新潟小学校)	泰山 裕 (鳴門教育大学)
中学年3組 (総合)	和菓子でつなぐ今昔物語 三富 智大	石塚 正人 (附属新潟小学校)	相澤 昭宏 (鎌倉女子大学)
6年1組 (総合)	フォーシーム -つながる×つなげる- 本間 大樹	渡邊 裕矢 (附属新潟小学校)	澤邊 潤 (新潟大学)

【会場】新潟大学附属新潟中学校

<受付> 8:30~

<公開授業> 9:30~10:30

<協議会> 10:40~11:40

公開クラス	単元名 授業者	協議会	
		司会者	助言者
1年1組 (総合)	社会をよりよくするとは? ~新潟市をフィールドに~ 鈴木 知宏	水口 剛志 (附属新潟中学校)	加藤 智 (文部科学省)
1年2組 (総合)	社会をよりよくするとは? ~新潟市をフィールドに~ 山際 勇也		
1年3組 (総合)	社会をよりよくするとは? ~新潟市をフィールドに~ 松田 龍亮		
2年1組 (総合)	私たちが描く「にいがた2km」 ~地域活性化への挑戦~ 伊豆野真生	出口 雅也 (附属新潟中学校)	岩崎 保之 (関西大学)
2年2組 (総合)	私たちが描く「にいがた2km」 ~地域活性化への挑戦~ 澤田健太郎		
2年3組 (総合)	私たちが描く「にいがた2km」 ~地域活性化への挑戦~ 赤塚 仁美		
3年1組 (総合)	附中Fes2024(仮) ~社会を変えるために~ 丸山 広大	大坂 圭 (附属新潟中学校)	三島 晃陽 (岐阜県郡上市立 郡上南中学校)
3年2組 (総合)	附中Fes2024(仮) ~社会を変えるために~ 松川 知樹		
3年3組 (総合)	附中Fes2024(仮) ~社会を変えるために~ 山貝 洋輔		

＜高校実践発表・協議会＞

【会場】新潟大学附属新潟小学校

＜受付＞ 8:30～

＜発表＞ 9:30～10:00

＜協議会＞ 10:00～11:30

テーマ:主体的な探究を展開する体制作り	協議会	
発表校: 高校探究コミュニティ参加校	司会者	助言者
①新潟県立新潟高等学校 タイトル:課題設定場面における体制作り 発表者:松井 市子	梅田 智子 (新潟県立新潟高等学校)	酒井 淳平 (立命館宇治中学校・高等学校)
②新潟県立新潟南高等学校 タイトル:カリキュラム内外の学びを創る主体性の滑走路 ～自走環境と教員の越境～ 発表者:宮崎 芳史		
③新潟県立三条高等学校 タイトル:WWL「グローバル探究」の取り組み 発表者:中川 浩宣		
④新潟県立三条東高等学校 タイトル:管理職の関わり方と学校全体での取り組み方 発表者:早川 昌		
⑤新潟県立長岡向陵高等学校 タイトル:生徒も教員も外に出て探究する 発表者:金子 将人・木村美奈子・中村 直子		
⑥新潟県立六日町高等学校 タイトル:生徒の声を集めてつくるチャレンジ101プロジェクト 発表者:近藤 慎子・星名 千夏・茂木和佳子		
⑦新潟青陵高等学校 タイトル:体験をとおして探究する学びの指導体制 発表者:石塚 和洋		

【実践発表設定の意図】

高等学校では「総合的な探究の時間」が始まり、生徒も教員もよりよい学びの在り方を模索しています。新潟県では、この取組を促進するために、県内高等学校の有志が集まり、管理職のリーダーシップのもと「高校探究コミュニティ」を立ち上げました。このコミュニティの目指すところは、どこの学校の生徒も主体的に探究し、教員がその学びを支え、生徒と共に探究できることです。

現在、公立・私立を問わず9校が参加し、定期的に情報交換・勉強会を開催し、様々な実践を共有しています。もちろん、成果もあれば課題もあります。カリキュラムや校内体制を作るに至るまでの経緯や苦悩も共有することで、よりよい探究の取り組みを進めてきました。

そこで、この新潟大会では、参加校の実践発表やご参会の皆様との協議、助言者の先生とのやり取りを通して、学校間での課題を共有し、解決に向けた率直な対話を行います。これにより、全国の高等学校における探究の質の向上や未来の展望に貢献したいと考えています。

【実践発表の形式】

初めに高校コミュニティの活動についての説明を行います。その後参加者は希望する学校やプロジェクトのブースを選び、各ブースでは実践発表を聞いて協議に参加してください(20分×3ブース)。最後に指導者の講評を通して全体共有します。

自由研究発表

■会場：新潟青陵大学、新潟大学附属新潟小学校・新潟中学校

大会第1日目 6月22日(土) 13:00~14:40

1発表25分(発表15分以内 質疑応答5分 入れ替え5分)

会場	教室	分科会	発表内容の分類	発表件数
新潟青陵大学	1301講義室	第1分科会	生活科	4
	1302A講義室	第2分科会	生活科 総合(小学校・中学年)	4
	1302B講義室	第3分科会	総合(小学校・高学年)	4
	1303講義室	第4分科会	総合(小学校・高学年)	4
	1304講義室	第5分科会	総合(小・中学校)	4
	1305講義室	第6分科会	総合(中学校)	4
	1306講義室	第7分科会	総合(高校)	4
	1307講義室	第8分科会	ICT その他(探究的な学び等)	4
	1308講義室	第9分科会	その他(図書館、理科等)	4
	1309講義室	第10分科会	教師教育	4
	1204講義室	第11分科会	大学での実践	4
	1205講義室	第12分科会	大学での実践	4
	1206講義室	第13分科会	その他(特別支援学校・学級)	4
	6201講義室	第14分科会	幼保小連携	4
	6202講義室	第15分科会	生活科	4
	6203講義室	第16分科会	生活科・総合の評価	4
	6204講義室	第17分科会	生活科・総合の歴史・思想・理論	4
	6205講義室	第18分科会	総合(高等学校) その他(行政等)	4
新潟大学附属新潟小学校	1年1組	第19分科会	幼保小連携 その他(レッジョ・エミリア)	3
	1年2組	第20分科会	幼保小連携 その他(幼児教育)	4
	低学年複式	第21分科会	幼保小連携	4
	2年1組	第22分科会	生活科	4
	2年2組	第23分科会	生活科	3
	3年1組	第24分科会	生活科	4
	3年2組	第25分科会	生活科	4
	中学年複式	第26分科会	生活科	4
	4年1組	第27分科会	総合(小学校・中学年)	4
	4年2組	第28分科会	総合(小学校・中学年)	3
	5年1組	第29分科会	総合(小学校・中学年)	4
	5年2組	第30分科会	総合(小学校・中学年)	4
	高学年複式	第31分科会	総合(小学校・中学年) カリキュラムデザイン	4
	6年1組	第32分科会	総合(小学校・高学年)	3
	6年2組	第33分科会	総合(小学校・高学年)	4

会場	教室	分科会	発表内容の分類	発表件数
新潟大学 附属新潟 中学校	1年1組	第34分科会	総合（中学校）	4
	1年2組	第35分科会	総合（中学校）	4
	1年3組	第36分科会	総合（小学校）	3
	理科室	第37分科会	総合（小学校）	4
	2年1組	第38分科会	総合（小学校）	4
	2年2組	第39分科会	総合（小・中学校）	4
	2年3組	第40分科会	総合（高等学校）	4
	3年1組	第41分科会	生活科・総合の歴史・思想・理論	3
	3年2組	第42分科会	その他（学校づくり、自己評価、不登校）	3
	3年3組	第43分科会	教師教育	4
	美術室	第44分科会	大学での実践	4

【会場】新潟青陵大学 1号館3階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目	
1301 講義室	1	コメンテーター： 唐沢 実（新潟県三条市立一ノ木戸小学校）				
		1	○安江 柚乃 佐藤 康富	横浜市立永田台小学校 東京家政大学	きょうしつ むしいっぱい だいさくせん	
		2	小原 広士	北海道教育大学附属旭川小学校	動物に働きかけることを通して変容した「子どもの行動と意識」について～第2学年「めざせ 生きものはかせ」の実践より～	
		3	○肖 佩娟 西脇 千紘 西嶋 良 森 太郎	滋賀大学大学院・院生 滋賀県守山市立物部小学校 滋賀県草津市立笠縫東小学校 滋賀大学	生活科でのアサガオ栽培における具体的な活動や体験の充実が児童の気付きや学びに及ぼす影響	
		4	○佐久間 響子 宗形 潤子	福島大学附属小学校 福島大学	思いや願いの実現のために動き続ける子どもをめざして～野菜の栽培活動を通して～	
1302 A 講義室	2	コメンテーター： 大坪 邦子（神奈川県平塚市立みずほ小学校） ・ 渡邊 大貴（大分大学）				
		1	加藤 智	愛知淑徳大学	生活科教科書活用の現状と展望	
		2	小谷 卓也	大阪大谷大学	「かがく遊び」体験を通じた知識活用型の「学び」による幼小接続モデルの提案	
		3	孕石 泰孝	関西大学初等部	「星の魅力」をテーマとしたSTEAM教育の実践	
		4	小篠 光子	神戸市立泉台小学校	「SDGs×PBL」による探求的な学びの創造	
1302 B 講義室	3	コメンテーター： 藤沖 静香（相模原市立青葉小学校）				
		1	○佐藤 梨恵子 野口 徹	山形県寒河江市立寒河江中部小学校 山形大学	大規模校における学年総合～多様な気付きや考えがつながる面白さと自由度への課題が見えた総合的な学習の時間～	
		2	伴 昌也	京都府宇治市立宇治小学校	子どもの思いをつなぐ単元デザイン	
		3	釘本 拓弥	佐賀県佐賀市立朝日小学校	資質・能力を高める単元づくり～きらりお米プロジェクト～	
		4	高柳 太一	埼玉県白岡市立白岡東小学校	カリキュラム・マネジメントによる学びのSTEAM化の推進～ESDの視点で地域とつなぐ～	
1303 講義室	4	コメンテーター： 古賀 泰伸（佐賀県鳥栖市立鳥栖小学校）				
		1	氏家 拓也	愛知県武豊町立緑丘小学校	主体的な学びの促進と成長の探究～児童の興味と追究心に焦点を当てた自由活動の実際～	
		2	竹次 奈央	札幌市立北陽小学校	自分らしさを追究する総合的な学習の時間の実践	
		3	高多 利明	富山県南砺市立福野小学校	地域教材を生かしながら、子供の主体的な学びを育成する～第5学年『福野の特産物「里いも」～「里いもまつり」でできること～』の実践から～	
		4	○鈴木 美穂 野口 徹	山形大学附属小学校 山形大学	本気の学びを経験した児童の足跡～総合の実践から2年後の語りを俯瞰的に捉えて～	
1304 講義室	5	コメンテーター： 齋田 淳一（宮城県仙台市立四郎丸小学校）				
		1	鈴木 大介	岐阜市教育委員会	岐阜市教育委員会が推進する総合的な学習の時間「ぎふMIRAI's」	
		2	森江 一史	熊本市教育委員会	総合的な学習の時間を活用した「水俣環境学習」の新展開	
		3	○宮崎晃太郎 後藤典愛 永井裕章	大分県大分市立豊府小学校	「やらされる総合」から「やりたい総合」へ～小学校4年生「見つけよう！住みやすい町／広げよう！自分たちの夢」～	
		4	齋藤 淳	福岡県教育庁福岡教育事務所	子供主体のカリキュラムのスリム化は可能か	

【会場】新潟青陵大学 1号館3階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目	
1305 講義室	6	コメンテーター： 鎌田 明美 (徳島県阿南市立阿南第一中学校)				
		1	○松岡 珠美 藤本 勇二	熊本市立西原中学校 武庫川女子大学	食から考える海のない中学校の海洋教育カリキュラム～栄養教諭のコーディネーターとしての視点から～	
		2	戸田 裕昭	株式会社WE	小中連携・地域連携・民間連携で廃校の危機を乗り越えた総合学習の取り組み： シン・株式会社松ヶ崎小中学校 の事例から	
		3	田村 和弘	新潟県三条市立第一中学校	中学校の総合的な学習の時間におけるシビックプライドを高める意義に関する一考察	
		4	石川 哲	新潟市立白根北中学校	憧れをつなぐ総合的な学習の時間 本物体験 キャリア教育を中核にして	
1306 講義室	7	コメンテーター： 門倉 りえ (広島県竹原市立荘野小学校)				
		1	○小川 史晃 横尾 祥子	株式会社トモノカイ	修学旅行向け探究ワークブック制作から見えた地域探究推進のヒント	
		2	永田 成文	広島修道大学	地域活性化に向けて地域資源のよさを伝え合う総合的な探究の時間の授業実践	
		3	奥田 智	日本大学	高等学校における総合的な探究の時間の指導の現状について	
		4	木下 花子	山梨県立笛吹高等学校	高等学校「総合的な探究の時間」における学習評価の試み	
1307 講義室	8	コメンテーター： 吉田 貴史 (福島市教育委員会)				
		1	木下 智実	埼玉県所沢市立山口小学校	総合的な学習の時間における「動画づくり」に関する実践と考察～探究的な学びとなるためのICTの活用に焦点を当てて～	
		2	○田中 若葉 原口 るみ	東京学芸大学	児童の生活をとりまく「身近にある物」の変遷の分析－STEAM教育の視点から－	
		3	○村川 雅弘 ○八弮 明美 ○八波田 みゆき 石堂 裕 堀田 雄大	甲南女子大学 愛知県知多市立新知小学校 徳島県徳島市立福島小学校 兵庫県たつの市立龍野小学校 新潟市立総合教育センター	探究型のものづくりにおける成長～HONDA「子どもアイデアコンテスト」のファイナリストの姿を通して	
		4	米持 武彦	学校法人別府大学明星小学校	探究力に重点を置きICT活用を広げる学校経営と授業づくり	
1308 講義室	9	コメンテーター： 田村 恵美 (東京家政大学) ・ 岡田 了祐 (富山大学)				
		1	○原口 るみ 大貫 麻美	東京学芸大学 白百合女子大学	学校図書館を中核にした生活科のカリキュラム・マネジメント－幼少接続期の「乳」の理科読実践を踏まえた提案－	
		2	岩崎 泰久	千代田区立九段小学校	生活科ではたらかせる見方・考え方と理科との関連性	
		3	内海 美帆	広島大学大学院	生活科における気付きの質を高める指導に関する調査－教師による足場かけに焦点を当てて－	
		4	加納 誠司	愛知教育大学	生活科・総合的な学習における話し合い活動での教師の「でば」の研究	
1309 講義室	10	コメンテーター： 四ヶ所 清隆 (久留米市教育委員会)				
		1	藤上 真弓	山口大学	総合的な学習の時間における協働を見取る視点の活用に向けて	
		2	横江 信一	石巻専修大学	「総合的な学習の時間」に対する教師の意識に関する一考察	
		3	嶋田 恭子	佐賀県伊万里市立伊万里小学校	若年層教員との生活科の協働的な授業づくり	
		4	西野 雄一郎	愛知教育大学	生活科・総合的な学習の時間を専門とする教職を志す大学生の探究～「エージェンシー」の発揮・育成の視点から～	

【会場】新潟青陵大学 1号館2階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目
1204 講義室	11	コメンテーター : 神永 典郎 (白百合女子大学)			
		1	鈴木 美佐緒	宮城教育大学	養成段階において生活科の授業を構想し実践する力を育成する試み「野菜栽培活動」の講義事例を通して
		2	小野寺 かれん	京都光華女子大学	教員志望学生の動物飼育に関する生活科の授業力量の形成
		3	小谷 恵津子	玉川大学	キャンパスの環境を生かした「生活科マップ」作成・交流の取組
		4	鈴木 隆弘	高千穂大学	教職課程における栽培活動の成果と課題ー「生活」「生活科指導法」を中心としてー
1205 講義室	12	コメンテーター : 寺木 秀一 (新潟薬科大学)			
		1	三堀 仁	環太平洋大学	幼児教育をめざす学生を対象とした授業における季節の遊びの教材研究とカリキュラムづくり
		2	宗形 潤子	福島大学	自ら遊ぶことが大学生のもつ子どもの遊び観に与える影響
		3	松田 剛史	藤女子大学	フィールドワークで深めるコンピテンシーベースの単元構想～総合的な学習の時間の指導法での取組～
		4	佐久間 敦史	大阪教育大学	教科教育法における模擬授業実施モデルに関する一考察ー他者が作成した学習指導案を活用してー
1206 講義室	13	コメンテーター : 加藤 裕美子 (名古屋市立上志段味小学校)			
		1	青山 尚弘	神奈川県茅ヶ崎市立梅田小学校	特別支援学級における夢中に学ぶ子を目指した授業づくり 生活科の実践を中心に
		2	○影山 知美 溝邊 和成	岡山県立岡山東支援学校 元兵庫教育大学	特別支援学校における「総合的な学習の時間」の改善
		3	岡田 直俊	愛知県豊川市立八南小学校	特別支援学級における総合的な学習の時間の可能性
		4	堂脇 真理子	大分県立佐伯支援学校	元気に かがやく 佐伯人～地域人材を活用した総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の実践～

【会場】新潟青陵大学 6号館2階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目	
6201 講義室	14	コメンテーター：尾身 浩光（長岡こども・医療・介護専門学校）				
		1	○中村 哲也 四辻伸吾	常磐会学園大学 大阪教育大学	幼保小接続の現状と課題について	
		2	○山下 奈美子 青柳 徳子 長島 万里子	千葉県浦安市立美浜南小学校 千葉県流山市立流山小学校 洗足こども短期大学	健やかな子どもの育ちのための幼保小接続期のあり方に関する一考察—小学校教員アンケート調査から—	
		3	○鈴木美佐緒 伊藤 志保 佐々木 かおり 西脇 めぐ 佐藤 みちる	宮城教育大学 仙台市立榴岡小学校 仙台市立田子小学校 仙台市立荒町小学校 宮城教育大学附属幼稚園	幼保小の若手教員との共創による接続期の新たなカリキュラムの構成と展開	
		4	溝上 敦子	西日本短期大学	幼保小連携の視点から「協同性」を培う保育の環境構成の在り方を問う—ICTおもちゃキットを使った協同的な活動の実践場面を通して—	
6202 講義室	15	コメンテーター：仁井 貴士（広島県東広島市立下黒瀬小学校）				
		1	藤原 達矢	兵庫県加東市立滝野東小学校	生活科における創造性を発揮させる教師の働きかけについて	
		2	○古賀 きらら 浦郷 淳	佐賀県伊万里市立伊万里小学校 長崎国際大学	子どもの学びのつながりを生む教師の関わり	
		3	間瀬 陽子	相模原市立もえぎ台小学校	子どもの思いや願いを大切にしたい授業づくり～子ども同士がつながり、学びを深める言葉かけ～	
4	○稲谷 直也 牧野 泰	相模原市立共和小学校 相模原市立新磯小学校	「憧れる自己イメージの獲得」を目指した生活科学学習			
6203 講義室	16	コメンテーター：田中 文健（新潟県柏崎市立北条小学校）				
		1	○幸島 椋 浦郷 淳 嶋田 恭子	佐賀県伊万里市立伊万里小学校 長崎国際大学 佐賀県伊万里市立伊万里小学校	生活科まとめから見るまなびの質の見取りに関する研究	
		2	菅沼 敬介	福岡教育大学	生活科で学びに向う力を育成する「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価の実証研究	
		3	神野 幸隆	香川大学	総合的な学習の時間の「ふりかえり場面」における精緻化方略—知識の「抽象化」・「体系化」を促す「本質的な問い」に着目して—	
4	○香田 健治 齋藤浩平	関西福祉科学大学 仙台市立榴岡小学校	「総合的学習」における質的評価の信頼性に関する研究—モデレーション法を活用した研修による評価結果の比較検討—			
6204 講義室	17	コメンテーター：釜本 健司（新潟大学）				
		1	○平子 晶規 白井 克尚	愛知淑徳大学 愛知東邦大学	谷川彰英の生活科教育論の歴史的意義に関する考察—生活科誕生期における「つきあい科」の理論を中心に—	
		2	市川 遥也	早稲田大学大学院・院生	STEAM教育における「アート」とは何か—ジョン・デューイとE・W・アイズナーのアート思想から考える—	
		3	浦郷 淳	長崎国際大学	中動態を視点とした生活科授業に関する一考察	
4	○白井 克尚 行田 臣	愛知東邦大学 豊川市立御津南部小学校	黎明期におけるグローバルな総合的学習実践の歴史的意義に関する考察—愛知教育大学附属岡崎小学校の鈴木佳樹「モザンビークの花束」実践を事例として—			
6205 講義室	18	コメンテーター：渡辺 真也（横須賀市教育委員会）				
		1	松本 謙一	富山県南砺市教育委員会	『南砺 令和の教育改革』—生活・総合における学びを生かして—	
		2	高橋 裕也	世田谷区立瀬田中学校	教育行政主体の探究活動	
		3	廣瀬 志保	山梨県立笛吹高等学校	総合的な探究の時間を中核とした地域連携に関するカリキュラム・マネジメント	
4	東條 さおり	名古屋市立栄小学校	生活科・総合的な学習の時間における外部コーディネーターの可能性			

【会場】新潟大学附属新潟小学校 1階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目	
1年1組	19	コメンテーター： 渡邊 かほる（福島県福島市立余目小学校）				
		1	金城 愛梨 ○山本 銀兵 宮城 利佳子 名渡山 よし乃	沖縄県南城市大里北小学校 沖縄県那覇市立上間小学校 琉球大学 沖縄女子短期大学	生活科における「保育ドキュメンテーション」の応用	
		2	○我謝 友貴美 宮城 利佳子 名渡山 よし乃 金城 愛梨	沖縄県与那原町立阿知利保育所 琉球大学 沖縄女子短期大学 沖縄県南城市立大里北小学校	子どもたちの育ちや学びをつなぐ～ドキュメンテーション活用による保護者への情報発信と受け止めの分析～	
		3	小栗 愛未	愛知教育大学教職大学院・院生	小学校教育における子どもの思考のプロセスを可視化するドキュメンテーションについての研究—Emergent Curriculum in the Primary Classroomの実践分析を通して—	
1年2組	20	コメンテーター： 中山 卓（上越教育大学附属幼稚園）				
		1	高橋 浩司	愛知県蒲郡市立三谷小学校	幼児期の学びや育ちを生かした接続カリキュラムの研究	
		2	田淵 知紗	神戸大学附属小学校	幼稚園教員と小学校教員の見取りの傾向性とその変容—幼小交流単位を通して—	
		3	○梶川 友恵 南 利枝 徳田 えりか 土井 明日香	横須賀市立武山小学校 神奈川県秦野市立大根小学校 神奈川県平塚市立八幡小学校 神奈川県平塚市立真土小学校	幼児期の教育の理解をもとにしたスタートカリキュラムの見直し～園との連携と保護者の声に着目して～	
4	梅田 裕介	中部学院大学	SDGs・ESD時代に求められる保育の在り方に関する一考察			
低学年複式	21	コメンテーター： 豊田 博之（山形県山形市立第八小学校）				
		1	岩月美智子	山形県天童市立高揃小学校	高揃版「架け橋プログラム」の探究	
		2	若林 広泰	埼玉県戸田市立芦原小学校	生活科における小学校間連携の実践	
		3	○津村 優里菜 小幡 肇	文教大学大学院・院生 文教大学	子どもの「学び」の視点から問い直す接続期教育の在り様～東京学芸大学附属小金井小学校1年富山学級「じぶんのじかん」に取り組む子どもの姿を手がかりとして～	
4	富山 正人	東京学芸大学附属特別支援学校	幼小接続期教育への試行とその考察—「じぶんのじかん」に取り組む子どもの姿を手がかりとして—			
2年1組	22	コメンテーター： 高野 浩男（山形県米沢市立南原小学校）				
		1	○櫻井 純代 磯部 征尊	愛知県一宮市立末広小学校 愛知教育大学	自立し生活を豊かにするためのカリキュラムのデザイン～身近な生活に関わる見方・考え方を生かして～	
		2	杉 桃華	愛知教育大学大学院・院生	「地域への愛着」を育む生活科・町探検の研究—表現活動の工夫を通して—	
		3	坂口 静磨	熊本市立託麻南小学校	養蚕農家や地元企業と連携した小学校でのカイコ飼育の実践	
4	芦原 玲子	熊本大学教育学部附属小学校	食品に対する気付きの質を高める生活科での実践～第1学年「だいたず大プロジェクト」～			
2年2組	23	コメンテーター： 渡辺 径子（上越教育大学）				
		1	○箱根 正斉 藤本 勇二	兵庫教育大学附属小学校 武庫川女子大学	個の探究をじゃましない手立ての検討—第1学年「そめてそめてそめてみよう」の実践より—	
		2	徳永 真衣	山口大学教育学部附属光小学校	エージェンシーを発揮する生活科の学び～表情マークによる気付きの質の高まりに着目して～	
3	○高橋 歩 高久 健太	新潟市立桜が丘小学校 新潟市立鑑郷小学校	学びをつなぐ子どもの育成			

【会場】新潟大学附属新潟小学校 2階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目
3年1組	24	コメンテーター : 本田 泉 (新潟市立木崎小学校)			
		1	○佐野 智子 木村 光男	常葉大学教育学部附属橘小学校 常葉大学	協働性を発揮し相互承認に至る生活科成長単元
		2	大廣 誠	相模原市立田名北小学校	「関わり」を大切にした生活科学習～第2学年 「あしたへジャンプ」の実践を通して～
		3	○松井 香奈 藤本 勇二	大阪市立吉野小学校 武庫川女子大学	緩やかな交流で気づきの質を高める生活科
		4	○足立 亜伊 鈴木 隆司	千葉県袖ヶ浦市立昭和小学校 千葉大学	「自然や物を使った遊び」の単元開発―児童と教師が共に学習内容をつくり出していく授業の在り方―
3年2組	25	コメンテーター : 藤井 千春 (早稲田大学)			
		1	福田 耕平	宇都宮大学共同教育学部附属小学校	ICT活用及び保護者参加型生活科授業の創造
		2	齊藤 和貴	京都女子大学	学級だよりを通してみる生活科の授業づくり
		3	澤柿 教淳	松本大学	生活科における対話のdialogicの側面の進行と授業者の教授方略
		4	小宮 瑠莉	新宿区立落合第三小学校	思いや願いを膨らませ続ける児童の育成～「保育ドキュメンテーション」の手法を活用して～
中学年複式	26	コメンテーター : 石井 信孝 (広島大学附属三原小学校/広島大学)			
		1	武田 文子	大分県佐伯市立渡町台小学校	第1学年における合科的・関連的な指導の工夫
		2	朝倉 万菜美	愛知教育大学教職大学院・院生	生活科における教科横断的な指導を生かした表現活動の研究―生活科と図画工作科との関連に焦点を当てて―
		3	大塚 翔	愛媛大学教育学部附属小学校	生活科におけるカリキュラムデザインの可能性―指導案マップで構想した1年「じぶんたんけん」全56時間の実践から―
		4	柳沼 麻美	江戸川区立大杉第二小学校	環境や人とのかかわり、自分の思いを表現できる生活科の単元構想―抽出児の変容からの考察―
4年1組	27	コメンテーター : 難波 和生 (福島県郡山市立芳山小学校)			
		1	長嶺 文士郎	沖縄県那覇市立安謝小学校	子どもの地域・伝統文化の探究と教師の働き方改革の探究―小学校第三学年総合的な学習の時間「僕らの旗頭」を通して―
		2	松永 友紀	熊本市立花園小学校	つなぐ つなげる つながりあう 総合的な学習の時間の創造―第4学年「花園ふれあいネットワーク～花園の命守り隊～」の実践から―
		3	竹下 太佑	熊本市立城山小学校	教科横断的な学びを通して、自他と地域を愛する心を育む総合的な学習の時間
		4	吉村 涼	広島市立可部小学校	地域を愛する子どものきっかけづくり
4年2組	28	コメンテーター : 長澤 拓也 (川崎市立橋小学校)			
		1	高橋 聡将	新潟市立桜が丘小学校	子どもが自ら探究し、生き生きと学ぶ授業づくり～小4「桜ものがたり」の実践を通して～
		2	中澤 蘭	相模原市立宮上小学校	総合的な学習の時間の資質能力向上を目指した、計画カリキュラムと実施カリキュラム～子どもの願いと教師が目指す目標の実現に向けて～
		3	寺島 恭平	新潟県上越市立直江津小学校	小学校総合における概念形成の実際

【会場】新潟大学附属新潟小学校 3階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目
5年1組	29	コメンテーター： 紺野 達也（横浜市立大岡小学校）			
		1	石堂 裕	兵庫県たつの市立龍野小学校	小学校中学年の探究的な学習における歴史文化資源の活かし方
		2	渡邊 和也	大阪教育大学附属平野小学校	教科の学びを統合させた探究学習の構想について—4年生 水プロジェクト—
		3	藤井 義光	大阪教育大学附属平野小学校	国語科との横断的な学びで育む探究的な資質・能力—3年健康プロジェクトの実践より—
		4	島本 政志	大阪教育大学附属平野小学校	ムシムシ村をカラフルに～生物多様性の概念獲得を目指した教科横断的な学習単元づくりの過程と実践について～
5年2組	30	コメンテーター： 佐藤 肇（新潟県五泉市立愛宕小学校）			
		1	松田 葵和子	相模原市立鶴の台小学校	地域材の有効活用 『相模川研究所を作ろう～私たちの未来につなげる学習～』の実践を通して
		2	○尾崎 智佳 杉本 智恵	愛知県岡崎市立生平小学校	身近な環境に関わり、よりよい環境について考え、行動できる子供の育成
		3	名切 太志	福岡県宗像市立玄海小学校	自己の生き方を更新する総合的な学習の時間
		4	天田 有香	大阪教育大学附属平野小学校	第4学年 キャリア教育「かつこいい大人プロジェクト」～道徳科と関連させて～
高学年複式	31	コメンテーター： 山之内 知行（新潟県柏崎市教育委員会）			
		1	田中 哲也	石川県白山市立明光小学校	探究を支える教師の役割—総合的な学習の時間における児童の探究過程の見とりを踏まえて—
		2	蒲倉 賢	福島県福島市立福島第三小学校	子どもの思いや願いを引き出す単元づくりと教師の在り方
		3	○四辻 伸吾 金谷 幸子 中村 哲也	大阪教育大学 守口市立さつき学園 常磐会学園大学	教師のネットワークが下支えとなる子どもどもたちの主体性を育む総合的な学習の展開
		4	大畑 健二	長野県長野市立三輪小学校	「総合的な学習の時間」の派生的な展開を支える教師の力量についての一考察
6年1組	32	コメンテーター： 豆田 幸彦（佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校）			
		1	戸高 佑基	神奈川県茅ヶ崎市立梅田小学校	共生社会の実現を目指して～誰もが過ごしやすい茅ヶ崎に～
		2	鈴木 勝一朗	小平市立小平第八小学校	“未来の担い手としての自覚”を促す手立て～小平市の“本当の魅力”とは～
		3	野口卓也	福島県福島市立三河台小学校	うめえべ！ふくしまの食文化～福島名物・円盤餃子の魅力を見つけよう！～
6年2組	33	コメンテーター： 南 正敏（神奈川県秦野市立上小学校）			
		1	○日車 光佑 藤本 勇二	京都府亀岡市立大井小学校 武庫川女子大学	児童の問題意識から行動し、亀岡市を変えた総合的な学習の時間の実践～小学5年生による「プラゴミなしプロジェクト」～
		2	市之瀬 敦則	名古屋市立名東小学校	主体的に学び続ける子どもを育てる総合的な学習の時間
		3	○平川 泰海 溝邊 和成	兵庫県三木市立口吉川小学校 元兵庫教育大学	子どもが共に創る「探究」のあり方～総合的な学習の時間「みらいの時間」の効果から～
		4	○長田 悠佑 溝邊 和成	兵庫県三田市教育委員会 九州共立大学	総合的な学習の時間における個人探究に関する研究

【会場】新潟大学附属新潟中学校 1階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目
1年1組	34	コメンテーター : 小林 晃彦 (上越教育大学)			
		1	小田 和也	新潟県佐渡市立佐和田中学校	生徒の想いを大切にし、探究的な見方・考え方を育む総合的な学習の時間の実践～「佐渡の文弥人形」を活用した授業改善を通して～
		2	渡辺 容子	新潟県胎内市立中条中学校	地域に貢献しようとする生徒の育成～生徒とゲストティーチャーでつくった探究課題で自分事に～
		3	市川 篤史	埼玉県教育局北部教育事務所	生徒が創りたいまちを実現する総合的な学習の時間
		4	大西 美佐歩	兵庫教育大学附属中学校	学びや成長を実感することで主体性を育む探究学習の実践～「自分の好きなこと」×「もち麦」で加東市に笑顔を～
1年2組	35	コメンテーター : 中村 祐哉 (広島県熊野町立熊野第一小学校)			
		1	○井口 克三 山田 麻子 永田健人	群馬県榛東村立榛東中学校	中学校における学級総合の実践
		2	藤原 靖浩	関西福祉科学大学	「抜き打ち避難訓練」の実施に向けた総合的な学習の時間の指導
		3	○藤本 紀和 大山 夏生	岐阜県美濃加茂市立西中学校 愛知教育大学	探究学習の始め方～ゼロから始めるための指南書
		4	○藤井 大誠 藤本 勇二	広島県世羅町立甲山中学校 武庫川女子大学	教科横断的な視点に立った単元開発～経験単元の開発と評価の工夫を通して～
1年3組	36	コメンテーター : 緑川 敏之 (福島県福島市立余目小学校)			
		1	林 大輔	埼玉県久喜市立久喜小学校	総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム・デザイン—各教科等の資質・能力の活用・発揮と総合的な学習の時間の学習対象の利用・促進による教科等横断的な学びの視点から—
		2	荒岡 清秀	徳島県つるぎ町立半田小学校	総合的な学習「炭活動」を軸としたカリキュラムデザイン
		3	久銘次 健一	沖縄県八重山郡竹富町立波照間小中学校	探究的な学習の充実とカリキュラム・マネジメントの実現
理科室	37	コメンテーター : 小栗 欣也 (名古屋市立道徳小学校)			
		1	田島 裕司	いわき市立高坂小学校	子供理解を深めるCRMを活用した、社会参画を目指すカリキュラム・マネジメント
		2	○山寄 翔 溝邊 和成	東京都文京区立小日向台町小学校 元兵庫教育大学	探究過程におけるファシリテーションを考える～小学校総合的な学習の時間における授業場面をもとに～
		3	立野 文州	富山県教育委員会	総合的な学習の時間における話合いの在り方
		4	松下 恭平	名古屋市立二城小学校	主権者意識を育む小学校での総合的な学習の時間の在り方に関する一考察

【会場】新潟大学附属新潟中学校 2階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目
2年1組	38		コメンテーター : 佐々木 信晴 (福島県伊達郡川俣町立川俣小学校)		
		1	池永圭佑	和歌山県湯浅町立田村小学校	地域性を踏まえたキャリア発達を目指した総合的な学習の実践
		2	○嵩倉 美帆 小熊 幸子 小野寺 裕史	(公財) 笹川平和財団 海洋政策研究所 (公財) 笹川平和財団 海洋政策研究所 宮城県気仙沼市立鹿折小学校	海とともに生きる未来を描く探究活動にみる 成果と課題～宮城県気仙沼市立鹿折小学校の事例を通して～
		3	大下 将司	広島市立吉島東小学校	地域課題の探究から生まれるシビックプライド～地域を巻き込んだ学習を通して～
		4	緩利 真奈美	東京農業大学	「土と育つ」学びの意義－J小学校の生活科・総合的な学習－
2年2組	39		コメンテーター : 服部 真由子 (名古屋市立昭和橋小学校)		
		1	○大坪 泰子 佐久間 敦史	大阪府池田市立ほそごう学園 後期課程 大阪教育大学	中学校段階での「学年縦断型カリキュラム」構築に関する考察－気づきと課題を結びつけた総合的な学習のカリキュラム・デザイン－
		2	境野 仁	前・埼玉県深谷市立上柴東小学校	正統的周辺参加論から考える総合的な学習の授業づくり
		3	森 清成	広島大学附属三原小学校	個別最適な学びを実現するプロジェクト学習 一目的(テーマ)の系統性に着目して－
		4	○塩飽 隆子 塩飽 康正	一般財団法人ジャパンアートマイル	地域の課題を世界に繋げて探究するグローバルPBL
2年3組	40		コメンテーター : 松本 健義 (上越教育大学)		
		1	和田 篤史	立命館中学校・高等学校	文社系課題研究指導における社会との連携 ～児童館との連携を例にして～
		2	田島 阿樹	新潟県立新潟翠江高校	探究的な学習を通じて「習得・活用・探究」が深まる授業改善の試み～遠隔授業「日本史」におけるICTを活用した実践～
		3	○宮崎凌輔 勇山里奈 山内祐希 山田葵彩 石田真一	広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校	校内放任果樹の教材利用 ～ダイダイを用いた商品開発～
		4	乾 明紀	京都橘大学	高校生のキャリア展望と探究学習の関係

【会場】新潟大学附属新潟中学校 3階

教室	分科会	発表順	発表者名	所属先	発表題目	
3年1組	41	コメンテーター : 金馬 国晴 (横浜国立大学)				
		1	行田 臣	愛知県豊川市立御津南部小学校	戦後新教育期における総合単元的な学習-名古屋市立幅下小学校の実践-	
		2	中村 仁志	岡崎女子大学	生活科・総合的学習における「主体」概念の再吟味に向けた示唆-ビースタの所論と牛山実践を手掛かりとして-	
		3	安藤 理	原宿AIA高等学院	探究における「問い」の練り直し	
3年2組	42	コメンテーター : 鈴木 真樹 (相模原市立九沢小学校)				
		1	外山 隆久	名古屋市立栄小学校	持続可能な自律探究ができる学校づくり - 「生活科」「総合的な学習の時間」「幼保小接続」「小中連携」「学校行事」「キャリア教育」「学校運営」を通して-	
		2	○藤原 一弘 吉岡 舞	愛媛大学教育学部 愛媛大学教育学部附属小学校	地域を学習材にした総合的な学習における自己評価力の育成に関する実践と一考察~地域との関わりとESDの視点から~	
		3	阿曾 奈生	姫路大学	不登校児童生徒の探究的な学びの現状と課題に関する一考察	
3年3組	43	コメンテーター : 江波 大 (山形県教育局)				
		1	三原 茂	富山国際大学	授業力の向上-地域教材を扱った実践の比較から-	
		2	永井 伸一郎	岡山県赤磐市立桜が丘小学校	生活科・総合~楽しく学び合える研修~幼保小中そして大学まで	
		3	上原 卓	徳島県上板町立神宅小学校	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研修	
		4	鈴木 紀知	横浜市教育委員会	総合的な学習の時間における単元構想の支援を目的とした研修のデザイン	
美術室	44	コメンテーター : 大谷 敦司 (東北文教大学)				
		1	柿崎 和子	愛知教育大学	総合的学習における「ダンボールコンポスト」活動の可能性	
		2	松本 榮次	佛教大学	「提案のちから」を養うための実践-日本司法書士会連合会の作成した紙芝居教材「提案のちから」を活用して-	
		3	○萩原 浩司 内海 勝也 丸山 拓弥 田中 美有	皇學館大学 大阪府池田市立石橋南小学校 三重県津市立南が丘小学校 三重県四日市市立常磐西小学校	総合的な学習(探究)の時間における探究活動を通じた資源エネルギー問題に関する合意形成モデルの提案	
		4	玉城 明子	大阪大学	総合的な学習の時間のカリキュラムデザインの指導法に関する一考察-非教員養成課程で教職課程を履修する学生の様相から-	

課題別研究発表

■会場：新潟青陵大学

大会第1日目 6月22日(土) 15:10~16:50

分科会	学校園種	テーマ	コーディネーター	コメンテーター	発表者・登壇者	会場 (座席数)
1	小学校	<p>【ICT活用による探究の充実】</p> <p>●一人一台端末が整備された今、どのようにICTを活用することで、探究的な学習は深まるのか。</p>	西野雄一郎 (愛知教育大学)	黒上 晴夫 (関西大学)	<p>福田 晃 (金沢大学附属コラボレーション推進室)</p> <p>小原 広士 (北海道教育大学附属旭川小学校)</p> <p>鈴木 慶樹 (瀬戸 SOLAN 小学校)</p> <p>湯浅 亮 (富山県富山市立 吳羽小)</p>	1301 講義室 (156)
2	幼・小生活科	<p>【幼保小架け橋プログラムの開発・実践】</p> <p>●全国的な架け橋期の教育の充実に向けて、自治体の方針や学校園の実態に合わせた架け橋期のカリキュラムをどのように具現化するか。</p>	松村 英治 (東京都台東区教育委員会)	寶來生志子 (東海大学)	<p>井内 聖 (安平町教育委員会 子育て・教育総合専門員 学校法人リスム学園学園長)</p> <p>栗原さゆり (福島県福島市立 福島第三小学校)</p>	1303 講義室 (160)
3	小生活科	<p>【生活科における学びに向かう力等の評価】</p> <p>●生活科ならではの子供たちの多様性に寄り添うために、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの視点をどのように見取り評価するか。</p>	川邊 亮子 (相模原市立 大島小学校)	久野 弘幸 (中京大学)	<p>平林 侑子 (大分大学教育学部 附属小学校)</p> <p>青柳新太郎 (山形大学附属小学校)</p>	1304 講義室 (156)
4	総合・他教科 小生活科・小中	<p>【カリキュラム・マネジメントの実践の成果と課題】</p> <p>●カリキュラム・マネジメントの成果や課題は、どのように評価できるか。</p>	飛弾 直樹 (富山県教育委員会)	加納 誠司 (愛知教育大学)	<p>末松 崇芳 (岐阜県郡上市立 郡南中学校)</p> <p>伊吹 拓実 (愛知県安城市立愛知県桜林小学校)</p>	6201 講義室 (132)
5	小生活科・小中総合・高総探	<p>【チームでつくる生活科・総合】</p> <p>●カリキュラムリーダー(研究主任や管理職)はどのように学校全体に探究の教育文化をつくり、広めているか。</p>	後藤 竜太 (大分大学)	猪股 亮文 (宮城教育大学)	<p>君塚 裕子 (岩手県盛岡市立 河北小学校)</p> <p>松岡 珠美 (熊本市立 西原中学校)</p> <p>木下 花子 (山梨県立 笛吹高等学校)</p>	6202 講義室 (132)
6	高校	<p>【高等学校における地域と共に創る探究】</p> <p>●高度化・自律化する探究の学びを支える地域と学校の体制をいかに構築するか。</p>	藤島 尚子 (北海道苫小牧南高等学校)	山下 真司 (ベネッセコーポレーション)	<p>井上 敦夫 (山形県立山形中央高等学校)</p> <p>遠藤 健 (静岡県立駿河総合高等学校)</p>	6203 講義室 (147)
7	小生活科・小中総合・高総探	<p>【開催地枠】</p> <p>●生活科や総合的な学習(探究)の時間における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように捉えるか。</p>	甫仮 直樹 (上越教育大学 附属小学校)	松井千鶴子 (新潟工科大学)	<p>下鳥 陽代 (新潟県上越市立 大手町小学校)</p> <p>小林 智 (新潟市立小新中学校)</p> <p>波多野公恵 (新潟県立津南 中等教育学校)</p>	6204 講義室 (210)

全体会

■会場：ANA クラウンプラザホテル新潟
大会第2日目 6月23日（日） 10:00～12:30

開会行事

10:00～10:30

シンポジウム

10:30～12:15

【テーマ】

生活科や総合的な学習（探究）の時間における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように捉えるか

【コーディネーター】

田村 学（文部科学省）

【シンポジスト】

田村 恵美（東京家政大学）

酒井 淳平（立命館宇治中学校・高等学校）

金 洋輔（新潟市立有明台小学校）

閉会行事

12:15～12:30

会場アクセスマップ



【新潟市までのアクセス】

公益財団法人 新潟観光コンベンション協会の
[「新潟市へのアクセス」](#) ページをご参照ください。



【新潟駅バスターミナル】 乗り場案内



【会場周辺バス路線図】

[沼垂幼稚園方面](#)



[新潟小学校、附属新潟小・中学校、
新潟青陵大学方面](#)



各会場へのアクセス

新潟市立沼垂幼稚園

新潟市中央区鏡が岡 5-5 Tel : 025-244-6379

- 新潟駅より約 1.2km 徒歩約 15 分
- 新潟駅バスターミナル 2 番線 E5 牡丹山線 E6 竹尾線に乗車。
「沼垂白山」下車。徒歩 2 分。運賃 260 円。



[バス時刻表はこちら](#)

新潟市立新潟小学校

新潟市中央区東大畑通 1-679 Tel : 025-228-3059

- 新潟駅より約 2.4km
- 新潟駅バスターミナル 9 番線 C2 浜浦町線に乗車。
「西大畑」下車。徒歩 3 分。運賃 260 円。

または、

- 新潟駅バスターミナル 6 番線 B1 万代橋ライン、
7 番線 W2 西小針線、8 番線 W1 有明線・C3 信濃町線に乗車。
「古町」下車。徒歩 5 分。運賃 260 円



[バス時刻表はこちら](#)

新潟大学附属新潟小学校・新潟中学校

新潟市中央区西大畑町 5214

Tel : 小 025-223-8321 Tel : 中 025-223-8341

- 新潟駅より約 3km
- 新潟駅バスターミナル 9 番線 C2 浜浦町線に乗車。
「附属学校入口」下車。徒歩 4 分。運賃 260 円。

または、

- 新潟駅バスターミナル 6 番線 B1 万代橋ライン、
7 番線 W2 西小針線、8 番線 W1 有明線・C3 信濃町線に乗車。
「東中通」下車。徒歩 10 分。運賃 260 円



[バス時刻表はこちら](#)

新潟青陵大学

新潟市中央区水道町 1 丁目 5939 Tel : 025-266-0127

- JR 越後線「白山駅」より約 1km、徒歩 15 分
- 新潟駅より約 4km
- 新潟駅バスターミナル 9 番線 C2 浜浦町線に乗車。
「松波町 1 丁目」下車。徒歩 4 分。運賃 260 円。
または、「青陵大学前」下車。徒歩 1 分。



[JR 越後線新潟駅から
の時刻表はこちら](#)

[白山駅からのルート
マップはこちら](#)



[バス時刻表はこちら](#)

ANA クラウンプラザホテル

新潟市中央区万代 5-11-20 Tel:025-245-3333

新潟駅より約 700m 徒歩約 10 分



[ANA クラウンプラザホテル HP
上のアクセス案内はこちら](#)

駐車場のご案内（※できるだけ公共交通機関をご利用ください）

本大会で利用可能な駐車は、以下の2カ所のみです。

- ① 沼垂幼稚園に隣接する新潟市立沼垂小学校駐車場
- ② 附属新潟小学校グラウンド

新潟小学校、新潟青陵大学には駐車できません。

新潟小学校での公開授業・授業協議会にご参加の方は、附属新潟小学校グラウンドから徒歩で新潟小学校へ移動して下さい。（徒歩10分程度）

また、ANAクラウンプラザホテルの駐車場・周辺駐車場は有料です。

【沼垂小学校駐車場】

[沼垂小学校のHP](#)をご参照下さい。



※ 沼垂幼稚園で公開保育・協議会にご参加された方で、午後の自由研究発表、課題別研究発表にもご参加される方は、附属新潟小学校グラウンド駐車場まで、自家用車で移動して下さい。

※ 新潟青陵大学会場へ移動される方は、附属新潟小学校から無料シャトルバスをご利用下さい。

【附属新潟小学校グラウンド駐車場】

◎必ず以下のルートからお入りください。



※ 新潟小学校から附属新潟小・中学校までは、徒歩、または無料シャトルバスをご利用下さい。

※ 午後の自由研究発表、課題別研究発表にもご参加される方は、無料シャトルバスをご利用下さい。課題別研究発表終了後は、会場の新潟青陵大学から附属新潟小・中学校行きの無料シャトルバスをご利用ください。

ご案内

◎大会第一日目（6月22日（土））は、各会場間で無料シャトルバスを運行します。

【協議会終了後】

沼垂幼稚園 → 新潟小学校 → 附属新潟小・中学校 → 新潟青陵大学

【自由研究発表終了後】附属新潟小・中学校 → 新潟青陵大学

【課題研究終了後】 新潟青陵大学 → 附属新潟小・中学校（※自家用車ご利用の方）

【総会終了後】 新潟青陵大学 → ANA クラウンプラザホテル（懇親会参加の方のみ）

各会場から新潟駅方面へ移動方法

【沼垂幼稚園から新潟駅へ】

「沼垂白山」から E5 牡丹山線 E6 竹尾線に乗車



[バス時刻表はこちら](#)

【新潟小学校から新潟駅へ】

「南浜通」から C2 浜浦町線に乗車

または、

古町ルフル前「古町」から B1 万代橋ライン、W2 西小針線、
W1 有明線、C3 信濃町線に乗車



[バス時刻表はこちら](#)

【附属新潟小・中学校から新潟駅へ】

「附属学校前」から C2 浜浦町線に乗車



[バス時刻表はこちら](#)

【新潟青陵大学から新潟駅へ】

- ・JR 越後線「白山駅」まで徒歩 15 分
- ・「新潟青陵大学前」または「松波町一丁目」から
C2 浜浦町線に乗車



[JR 越後線白山駅から
の時刻表はこちら](#)

[バス時刻表はこちら](#)



新潟市内の主なタクシー会社

[「新潟市ハイヤータクシー協会」のHP](#)は、[こちら](#)です。



- ※ 会場校までタクシーご利用の場合、新潟駅「万代口」タクシー乗り場からご乗車ください。
- ※ 会場校へタクシーを呼ぶのは、ご自身で行ってください（大会事務局はお受けできません）。
- ※ 会場校は全て中央区にありますので、中央区のタクシー会社が便利かと思われます。
- ※ 新潟青陵大学の受付がある場所は、「4号館」となります。

お知らせ

第33回全国大会（新潟大会）前日の6月21日（金）に、上越市立大手町小学校、上越教育大学附属小学校、新潟県立新潟高等学校において公開授業を実施いたします。本大会と併せて、皆様のご参加をお待ちしております。

【上越市立大手町小学校】

受付 10:10～
「探究」授業公開 10:30～11:15
（1年・6年の2公開）
授業協議会 11:20～12:05

<「探究」について>

大手町小学校では、「生活科」「総合的な学習の時間」に替えて「探究」を教育課程に位置付けています。「探究」では、各学年の発達特性に合わせた課題を設定し、年間を通して協働的に解決します。低学年では、身の回りの環境から、中学年は地域の環境から、高学年は地域（社会）の実情から課題を設定しています。

課題解決に向かって活動する中で、学習対象の本質に迫るような問いを見出し、深く思考することが「探究」の学習過程であると考えています。大手町小学校の子供たちが探究する姿をぜひ参観ください。



○上越市立大手町小学校 HP <https://www.ohtemachi.jorne.ed.jp/>

【上越教育大学附属小学校】

受付 13:30～
「創造活動」公開 13:55～15:00
（1の1、2の1、2の2、3の1の4公開）

<「創造活動」について>

上越教育大学附属小学校の教育課程の枠組みは、4つの教育活動で構成しています。創造活動を中核とし、実践教科活動、実践道徳、集団活動の4つです。

創造活動は、多様な価値を含む「人・もの・こと」とかかわることを通して、はたらきかけ、はたらきかけられ続ける中で感じ、考えることを基に「人・もの・こと」の本質をとらえながら、世界をひろげ、生きる喜びをつくっていく活動です。

附属小学校の子どもが、生き生きと活動する姿をぜひご覧ください。



○上越教育大学附属小学校 HP <https://element.juen.ac.jp/>

【新潟県立新潟高等学校】

○新潟県立新潟高等学校 HP <http://www.niigata-h.nein.ed.jp/>

